

ZENworks 2017 Readme

2016年12月



この Readme ファイルでは、ZENworks 2017 リリースに関する情報を提供します。

- ◆ 1 ページのセクション 1 「インストール」
- ◆ 1 ページのセクション 2 「ZENworks 2017 へのアップグレードの計画」
- ◆ 2 ページのセクション 3 「アップグレード」
- ◆ 2 ページのセクション 4 「サポートされていない言語で ZAPP をカスタマイズする場合の重要な情報」
- ◆ 3 ページのセクション 5 「新機能」
- ◆ 3 ページのセクション 6 「Windows セキュアブート」
- ◆ 3 ページのセクション 7 「既知の問題」
- ◆ 13 ページのセクション 8 「その他のマニュアル」
- ◆ 14 ページのセクション 9 「保証と著作権」

1 インストール

インストール手順については『ZENworks 2017 サーバインストールガイド』を、システム要件の詳細については『ZENworks 2017 のシステム要件』をそれぞれ参照してください。

2 ZENworks 2017 へのアップグレードの計画

管理ゾーン内での ZENworks 2017 へのアップグレードを計画するには、次のガイドラインを使用します。

- ◆ まずプライマリサーバをアップグレードし、次にサテライトサーバ、最後に管理対象デバイスという順番で ZENworks 2017 にアップデートする必要があります。ゾーン内のすべてのプライマリサーバが ZENworks 2017 にアップグレードされるまで、管理対象デバイスおよびサテライトサーバをアップグレードしないでください(または、新しい 2017 エージェントをゾーンに追加しないでください)。

注: プライマリサーバがすべてアップグレードされるまで、エージェントは整合性のないデータを受け取る可能性があります。したがって、このプロセスのこの部分はできる限り短時間で実行することをお勧めします。理想的には、最初のプライマリサーバのアップグレード直後に実行します。

- ◆ 管理対象デバイスが ZENworks 11.x 以上に更新されている場合、ゾーン内の管理対象デバイスを直接 ZENworks 2017 にアップデートできます。

ZENworks 2017 へのアップグレードが完了すると、システムは 1 回再起動します。ただし、次の場面では再起動が 2 回必要になります。

表1 再起動が2回必要な場面

場面	ZENworks Endpoint Security	Full Disk Encryption	ロケーションサービ ス	クライアントセルフ ディフェンス
11.4.x から 2017 への アップグレード、およ び ZENworks 2017 の新 規インストール	無効	無効	ライト	有効
ZENworks 2017 の新規 インストール	無効	無効	フル	有効

重要: ZENworks 11.3.x 以前が動作しているすべてのプライマリサーバは、ZENworks 2017 にアップグレードする前に、まず ZENworks 11.4 にアップグレードする必要があります。サテライトサーバと管理対象デバイスは、ZENworks 2017 にアップデートする前に、ZENworks 11.x にアップデートする必要があります。ZENworks Agent バージョン 10.3.4 は ZENworks 2017 管理ゾーンでサポートされます。ただし、10.3.4 より前のバージョンはサポートされません。

表2 2017 への ZENworks 累積エージェントアップデート: サポートされるパス

デバイスタイプ	オペレーティングシステ ム	サポートされるバージョ ン	サポートされないバー ジョン
プライマリサーバ	Windows/Linux	v11.4 以上のバージョン	11.4 より前の任意のバージョン
サテライトサーバ	Windows/Linux/Mac	v11.0 以上のバージョン	11.0 より前の任意のバージョン
管理対象デバイス	Windows	v11.0 以上のバージョン	11.0 より前の任意のバージョン
	Linux	v11.0 以上のバージョン	NA
	Mac	v11.2 以上のバージョン	NA

3 アップグレード

プライマリサーバ、サテライトサーバ、および管理対象デバイスを ZENworks にアップグレードするための前提条件および手順の詳細については、『ZENworks アップグレードガイド』を参照してください。

4 サポートされていない言語で ZAPP をカスタマイズする場合の重要な情報

サポートされていない言語で ZAPP を設定するには、次の手順に従います。

- 1 %ZENWORKS_HOME%/zapp/i18n にあるすべてのファイルに対して、新しいロケールファイルを用意します。
- 2 %ZENWORKS_HOME%/zapp/conf に移動します。

- 3 locales.json ファイルを開き、**SupportedLocales** セクションに、必要な言語のエントリを追加します。

たとえば、言語が英語の場合、次のエントリを追加します。

```
{"name": "English", "value": "en", "helpFolder": "en", "aliases": "[\"en-US\", \"en-UK\"]}
```

ここで、"value" はロケールを表し、ロケールの値は指定したすべての "aliases" で有効になります。"help" は必ず、サポートされている言語で提供する必要があります。

- 4 すべての ZAPP プロセスを終了して、ZAPP を再起動します。

重要: ZAPP は、場所 %ZENWORKS_HOME%/zapp/locales に「.pak」ファイルがあるすべての言語をサポートできます。

5 新機能

ZENworks 2017 の新機能詳細については、『[ZENworks 2017 What's New Reference](#)』を参照してください。

6 Windows セキュアブート

セキュアブートは Windows の機能の 1 つで、UEFI ファームウェアを搭載した Windows デバイスで有効にできます。ZENworks 2017 のセキュアブートサポートには、次に説明する制限がありません。

Endpoint Security Management および Location Awareness: ゾーンで Endpoint Security Management または Location Awareness が有効になっている場合は、ZENworks Agent を新規インストールする前に、デバイスのセキュアブートを無効にしてください。デバイスの既存の ZENworks Agent を更新する場合は、これは必要ありません。

Full Disk Encryption: UEFI ファームウェアは Full Disk Encryption でサポートされません。同じ理由で Windows セキュアブートもサポートされません。

7 既知の問題

このセクションでは、ZENworks 2017 の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ [4 ページのセクション 7.1 「インストール」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 7.2 「アップグレード」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 7.3 「イメージング」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 7.4 「リモート管理」](#)
- ◆ [8 ページのセクション 7.5 「モバイル管理」](#)
- ◆ [12 ページのセクション 7.6 「ZENworks アプリケーション \(ZAPP\)」](#)
- ◆ [13 ページのセクション 7.7 「Full Disk Encryption」](#)

7.1 インストール

このセクションでは、インストール時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 4 ページのセクション 7.1.1「YaST アドオンを使用して SLES 11 SP4 または SLES 12 デバイスに ZENworks Agent をインストールする際に、「Unknown GnuPG Key (GnuPG キーが不明です)」というメッセージが表示される」
- ◆ 4 ページのセクション 7.1.2「Windows Server 2012 および Windows Server 2016 に ZENworks 2017 をインストールできない」
- ◆ 5 ページのセクション 7.1.3「ロールバック後に ZENworks を再インストールする際、インストールが失敗またはハングする」

7.1.1 YaST アドオンを使用して SLES 11 SP4 または SLES 12 デバイスに ZENworks Agent をインストールする際に、「Unknown GnuPG Key (GnuPG キーが不明です)」というメッセージが表示される

YaST アドオンを使用して SLES 11 SP4 または SLES 12 デバイスに ZENworks Agent をインストールする際に、**Unknown GnuPG Key (GnuPG キーが不明です)** というメッセージが表示されます。

解決策：手動で GnuPG キーを追加します。

- 1 **zenworks-agent-addon** ページに移動します。
例：<ZENworks_server/IP>/zenworks-agent-addon/
- 2 目的の SLES のリンクをクリックします。
- 3 **content.key** を右クリックして **Save Link As (名前を付けてリンク先を保存)** を選択し、GnuPG キーをダウンロードします。
- 4 **Configured Software Repositories (設定済みソフトウェアリポジトリ)** ウィンドウで、**GPG keys (GPG キー)** ボタンをクリックします。
- 5 **Add (追加)** をクリックして、**content.key** のダウンロード先の場所を参照し、**OK** をクリックします。

7.1.2 Windows Server 2012 および Windows Server 2016 に ZENworks 2017 をインストールできない

Windows Server 2012 および Windows Server 2016 に ZENworks 2017 をインストールする際、Java クラッシュエラーが発生してインストールが終了します。

解決策：

1. Windows Server で Microsoft DEP (データ実行防止) を無効にします。

Windows Server で DEP を無効にするには、管理者特権を使用してコマンドプロンプトで次のコマンドを実行します。

```
bcdedit /set nx AlwaysOff
```

詳細については、「[Boot Parameters to Configure DEP and PAE](#)」を参照してください。

2. **sfrhook.dll** ファイルの名前を **sfrhook64.dll** に変更します。このファイルには、%program files%\citrix\system32\ からアクセスできます。

7.1.3 ロールバック後に ZENworks を再インストールする際、インストールが失敗またはハングする

ロールバック後に ZENworks を再インストールする際、インストールが失敗またはハングします。

解決策: ZENworks のロールバック後、[環境変数] ウィンドウで次の変更を行ってから、ZENworks を再インストールします。

- ◆ ZENWORKS_HOME システム変数を削除する
- ◆ Path 変数から ZENworks のインストールパスを削除する

7.2 アップグレード

このセクションでは、アップグレード時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 5 ページのセクション 7.2.1 「ZENworks SLES 12 プライマリサーバをアップグレードすると、pxemenu.txt の変更内容が失われる」
- ◆ 5 ページのセクション 7.2.2 「アプライアンスの設定完了後に空の画面が表示される」
- ◆ 6 ページのセクション 7.2.3 「Macintosh デバイスのオペレーティングシステムをアップグレードすると、Agent のページが空白で表示される」
- ◆ 6 ページのセクション 7.2.4 「システム更新の展開時にプライマリサーバでパッケージの更新に失敗する」
- ◆ 6 ページのセクション 7.2.5 「Windows サーバを ZENworks 11.4.x から ZENworks 2017 にアップグレードする際に、Windows エクスプローラーが動作を停止する」
- ◆ 6 ページのセクション 7.2.6 「ZeUS の初期化が予期しないエラーで失敗する」
- ◆ 7 ページのセクション 7.2.7 「新しく追加されたデバイスに対して効果的な割り当てが計算されない」
- ◆ 7 ページのセクション 7.2.8 「11.4.x アプライアンスをマイグレートする際、[Online Update (オンライン更新)] タブに、インストール済みのパッチが表示されないことがある」

7.2.1 ZENworks SLES 12 プライマリサーバをアップグレードすると、pxemenu.txt の変更内容が失われる

ZENworks SLES 12 プライマリサーバをアップグレードすると、pxemenu.txt ファイルで **Novell Preboot Services** メニューに加えた変更がデフォルトの環境設定で置き換えられます。

pxemenu.txt ファイルは次の場所にあります。

- ◆ \srv\tftp\pxemenu.txt
- ◆ \srv\tftp\efi\x86_64\pxemenu.txt
- ◆ \srv\tftp\efi\ia32\pxemenu.txt

解決策: ZENworks をアップグレードする前に、pxemenu.txt ファイルをバックアップします。

7.2.2 アプライアンスの設定完了後に空の画面が表示される

VMware ワークステーションまたは vSphere Client 5.x に ZENworks アプライアンスを設定する際に、YaST での設定完了後に空の画面が表示されます。この問題は初回インストール時のみ発生します。

解決策: アプライアンスの設定完了後、アプライアンスを再起動します。

7.2.3 Macintosh デバイスのオペレーティングシステムをアップグレードすると、Agent のページが空白で表示される

Macintosh デバイスのオペレーティングシステムをアップグレードした後、[ZENworks Agent] ページが空白で表示されます。

解決策: オペレーティングシステムをアップグレードした後、次の手順を実行します。

1. `launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.novell.zenworks.agent.plist` コマンドを実行して、Macintosh デバイス上でエージェントサービスを停止します。
2. `/opt/novell/zenworks/zmd/java/lib/configuration` ディレクトリに移動し、次のフォルダを手動で削除します。
 - ◆ `org.eclipse.core.runtime`
 - ◆ `org.eclipse.osgi`
3. `launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.novell.zenworks.agent.plist` コマンドを実行して、Macintosh デバイス上でエージェントサービスを起動します。

7.2.4 システム更新の展開時にプライマリサーバでパッケージの更新に失敗する

ZENworks 2017 の更新プログラムをゾーン内のすべての管理対象デバイスに展開する際、パッケージの更新に失敗します。

解決策: パッケージの更新を開始する前に、zman サービスが実行中かどうかを確認します。zman サービスが実行中の場合は、`zman sss` コマンドを実行してサービスを停止します。

7.2.5 Windows サーバを ZENworks 11.4.x から ZENworks 2017 にアップグレードする際に、Windows エクスプローラーが動作を停止する

メディアのアップグレードまたはスタンドアロンアップデータによって Windows サーバを ZENworks 11.4.x から ZENworks 2017 に手動でアップグレードする際に、[パッケージのアップグレード中] の段階で Windows エクスプローラーが動作を停止します。この問題のため、ファイルエクスプローラを表示できません。

解決策: アップグレードの完了後、デバイスを再起動します。

注: デバイスを再起動せずに操作を続行する場合は、ファイルエクスプローラを手動で停止して起動する必要があります。ただし、デバイスを再起動せずに操作を続行した場合、ZENworks Agent は機能が制限された状態で動作します。

7.2.6 ZeUS の初期化が予期しないエラーで失敗する

ZENworks 11.4.x を ZENworks 2017 にアップグレードする際、サーバのインストール後にデバイスを再起動すると、予期しないエラーが派生します。

解決策: ZeUS サービスを手動で再開します。

7.2.7 新しく追加されたデバイスに対して効果的な割り当てが計算されない

効果的な割り当ての計算が有効になっていて、計算間隔の間にゾーンに新しいデバイスが追加された場合、新しく追加されたデバイスに対して効果的な割り当てが計算されません。

解決策: 次のいずれかを実行します。

- デバイスをゾーンに追加した後、手動で `zac ref bypasscache` コマンドを実行する
- デバイスで Z アイコンを右クリックし、[更新] をクリックして最新の効果的な割り当てを取得する

7.2.8 11.4.x アプライアンスをマイグレートする際、[Online Update (オンライン更新)] タブに、インストール済みのパッチが表示されないことがある

オンライン更新の実行後に 11.4.x アプライアンスをマイグレートする際、アプライアンスのコンソールの [Online Update (オンライン更新)] タブに、インストール済みのパッチが表示されないことがあります。

解決策: 必要なパッチがすべてインストールされている場合は、この問題を無視し、アプライアンスのマイグレーションを続行してください。

7.3 イメージング

このセクションでは、イメージング機能の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- [7 ページのセクション 7.3.1「SLES 10 SP3 および SP4 デバイス上に設定されているイメージングサテライトサーバが ZENworks 2017 プライマリサーバと通信できない」](#)

7.3.1 SLES 10 SP3 および SP4 デバイス上に設定されているイメージングサテライトサーバが ZENworks 2017 プライマリサーバと通信できない

SLES 10 SP3 または SP4 デバイスにインストールされている OpenSSL がデフォルトバージョンの場合、2017 プライマリサーバとの通信が切断されます。

解決策: ありません。詳細については、[Micro Focus サポートナレッジベース](#)で TID 7017532 を参照してください。

7.4 リモート管理

- [7 ページのセクション 7.4.1「ファイル転送中にリモートコンピュータから system32 フォルダ内のファイルを削除できない」](#)
- [8 ページのセクション 7.4.2「Linux デバイスから Windows デバイスを制御中に、\[ユーザーの切り替え\] 操作および \[ログオフ\] 操作を実行できない」](#)
- [8 ページのセクション 7.4.3「Macintosh デバイス上のリモート SSH が「Algorithm Negotiation Fail \(アルゴリズムのネゴシエーションに失敗しました\)」というエラーで失敗する」](#)

7.4.1 ファイル転送中にリモートコンピュータから system32 フォルダ内のファイルを削除できない

ファイル転送セッション中に、リモートデバイス上の system32 フォルダからファイルを削除する際、[ファイル転送ウィンドウ] が反応しなくなり、ファイルがフォルダから削除されません。

解決策: [ファイル転送] ダイアログボックスからファイルを削除するのではなく、リモートコントロールセッションからファイルを削除します。

7.4.2 Linux デバイスから Windows デバイスを制御中に、[ユーザーの切り替え] 操作および [ログオフ] 操作を実行できない

SLES/SLED デバイスから Windows デバイスをリモートコントロール中に、Windows デバイスで [ログオフ] 操作または [ユーザーの切り替え] 操作を実行できません。

解決策: なし

7.4.3 Macintosh デバイス上のリモート SSH が「Algorithm Negotiation Fail (アルゴリズムのネゴシエーションに失敗しました)」というエラーで失敗する

ZENworks Agent を Macintosh 10.11 または 10.12 デバイスにインストール中に、ZCC を使用してデバイスのリモート SSH を実行すると、Macintosh デバイス上のリモート SSH が「Algorithm Negotiation Fail (アルゴリズムのネゴシエーションに失敗しました)」というエラーで失敗します。

解決策:

1. Macintosh エージェントデバイスで、sshd_config ファイルに次の行を追加します。

```
KexAlgorithms curve25519-sha256@libssh.org,ecdh-sha2-nistp256,ecdh-sha2-nistp384,ecdh-sha2-nistp521,diffie-hellman-group-exchange-sha256,diffie-hellman-group14-sha1,diffie-hellman-group-exchange-sha1,diffie-hellman-group1-sha1
```

```
MACs hmac-sha2-512-etm@openssh.com,hmac-sha2-256-etm@openssh.com,hmac-ripemd160-etm@openssh.com,umac-128-etm@openssh.com,hmac-sha2-512,hmac-sha2-256,hmac-ripemd160,umac-128@openssh.com,hmac-md5,hmac-sha1,hmac-sha1-96,hmac-md5-96
```

2. SSH サービスを再起動します。

7.5 モバイル管理

このセクションでは、モバイル管理機能の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- 9 ページのセクション 7.5.1 「ActiveSync のみのデバイスとして登録されたデバイスを完全にワイプおよび削除した場合、同じデバイスの再登録に失敗する」
- 9 ページのセクション 7.5.2 「デバイスに正常に適用されているものの例外が発生しているポリシーの状態が「不明」のままになる」
- 9 ページのセクション 7.5.3 「デバイスの登録後に ActiveSync サーバを追加した場合、一部のモバイルデバイスで電子メールアカウントが正しく動作しないことがある」
- 10 ページのセクション 7.5.4 「ActiveSync サーバからリモートワイプを開始した場合、モバイルデバイスオブジェクトが ZENworks サーバ上に保持される」
- 10 ページのセクション 7.5.5 「9.2.1 より前の iOS バージョンで動作するデバイスで、バンドルインストール通知を受信しないことがある」
- 10 ページのセクション 7.5.6 「[登録解除] クイックタスクを開始してデバイスを完全にワイプした場合、クイックタスクの状態が [完了] に変わらないことがある」
- 11 ページのセクション 7.5.7 「外部 CA 証明書の一般名でホスト名と共にワイルドカード文字が使用されている場合、iOS デバイスの登録に失敗する」
- 11 ページのセクション 7.5.8 「特定の VPP アプリがときどき失敗する」

- ◆ 11 ページのセクション 7.5.9「デバイスまたはユーザに割り当てられているアプリのライセンスの取り消しまたは使用に失敗することがある」
- ◆ 11 ページのセクション 7.5.10「iOS デバイスの登録時に、デバイスの登録が長時間保留中のままになる」
- ◆ 11 ページのセクション 7.5.11「ユーザが属するユーザソースを削除して再度ゾーンに追加する場合、デバイスの再登録に失敗する」
- ◆ 12 ページのセクション 7.5.12「オフラインの MDM サーバに割り当てられているアクションが実行されない」
- ◆ 12 ページのセクション 7.5.13「別の APNs 証明書を再設定すると、デバイスの登録が保留中のままになる」

7.5.1 ActiveSync のみのデバイスとして登録されたデバイスを完全にワイプおよび削除した場合、同じデバイスの再登録に失敗する

登録解除クイックタスクを使用して ActiveSync のみのデバイスとして登録されたデバイスを完全にワイプおよび削除した場合、同じデバイスを ZENworks 管理ゾーンに再登録できません。

解決策：データベースで、zZENObject テーブル内にあるデバイスオブジェクトの TobeDeleted の値を 1 に更新する必要があります。

ベストプラクティスとして、デバイスを完全にワイプしてリタイアさせることをお勧めします。その後、**削除**をクリックしてゾーンからデバイスを削除できます。

7.5.2 デバイスに正常に適用されているものの例外が発生しているポリシーの状態が「不明」のままになる

ポリシーが割り当てられていてデバイスに正常に適用されていても、何らかの例外が発生している場合、ZENworks コントロールセンター (ZCC) にはそのポリシーの状態が**不明**と表示されます。これは、ポリシーの特定の設定が、登録されている特定のモバイルデバイスに適用できない場合に発生することがあります。たとえば、パスワード設定と暗号化設定が有効になっているモバイルセキュリティポリシーがデバイスに割り当てられていて、そのデバイスが暗号化をサポートしていない場合、ポリシーは正常に適用されます。ただし、この場合、例外がいくつか発生します。ZCC には状態が**不明**と表示されます。

解決策：ありません。

7.5.3 デバイスの登録後に ActiveSync サーバを追加した場合、一部のモバイルデバイスで電子メールアカウントが正しく動作しないことがある

デバイスがすでに ZENworks 管理ゾーンに登録されている場合に、後から ActiveSync サーバを設定すると、一部のデバイスの電子メールアカウントが電子メールを受信しないことがあります。

解決策：

Android デバイスの場合

- ◆ アカウントのパスワードを再入力するようプロンプトが表示されることがあります。パスワードを再入力しても解決しない場合、デバイスに設定されている電子メールアカウントに対して更新アクションを実行するか、デバイスの [設定] メニューから更新アクションを実行します。

Windows デバイスの場合

- ◆ デバイスの電子メールアカウントを削除して再作成します。

注: iOS デバイスの場合は、電子メールクライアントに数回エラーメッセージが表示された後、デバイスが電子メールを受信し始めることがあります。

ベストプラクティスとして、デバイスを ZENworks 管理ゾーンに登録する前に ActiveSync サーバを設定することをお勧めします。

7.5.4 ActiveSync サーバからリモートワイプを開始した場合、モバイルデバイスオブジェクトが ZENworks サーバ上に保持される

ActiveSync Server から直接リモートワイプを開始した場合、デバイスに設定されている電子メールアカウントは電子メールの受信を停止します。ただし、そのデバイスオブジェクトは ZENworks コントロールセンター内に保持されています。ユーザが電子メールアカウントを再作成しようとしたときに、デバイス上のデータがワイプされます。

解決策: デバイス上に電子メールアカウントを再作成するには、デバイスを ActiveSync サーバおよび ZENworks サーバから削除したうえで、ZENworks 管理ゾーンに再登録する必要があります。

注: ベストプラクティスとして、リモートワイプは、ActiveSync サーバからではなく常に ZENworks サーバから開始することをお勧めします。

7.5.5 9.2.1 より前の iOS バージョンで動作するデバイスで、バンドルインストール通知を受信しないことがある

9.2.1 より前の iOS バージョンで動作するデバイスに iOS バンドルを割り当てる場合、デバイスから複数の同期要求が送信されても、デバイスがバンドルインストール通知を受信しないことがあります。

解決策: iOS オペレーティングシステムを 9.2.1 以上のバージョンにアップグレードします。

7.5.6 [登録解除] クイックタスクを開始してデバイスを完全にワイプした場合、クイックタスクの状態が [完了] に変わらないことがある

登録解除クイックタスクを開始して、すでに ZENworks 管理ゾーンに登録されているデバイスを完全にワイプした場合、いくつかのモバイルデバイスについて、デバイス上のデータが正常にワイプされているにもかかわらず、ZCC のクイックタスクの状態は**完了**に変わらず、**割り当てのまま**になります。ユーザがこれらのデバイスを ZENworks 管理ゾーンに再登録しようとした場合、クイックタスクが保留中になっているため、デバイス上のデータがワイプされます。

解決策: ZCC からデバイスオブジェクトを削除してから、デバイスを再登録します。

7.5.7 外部 CA 証明書的一般名でホスト名と共にワイルドカード文字が使用されている場合、iOS デバイスの登録に失敗する

FQDN の一般名でホスト名と共にワイルドカード文字が使用されている場合、iOS デバイスの登録に失敗します。たとえば、FQDN が `hostname.example.com` で、証明書内の一般名が `hostname*.example.com` または `*hostname.example.com` である場合、デバイスの登録に失敗します。

解決策: ワイルドカード文字を使用せずに完全なホスト名を使用するか (`hostname.example.com`)、ホスト名の場所でワイルドカード文字を使用するようにします (`*.example.com`)。

7.5.8 特定の VPP アプリがときどき失敗する

特定のアプリのバンドルはデバイスに割り当てられていますが、アプリをデバイスにインストールできず、iTunes ID に問題がないにもかかわらず「iTunes ID cannot be validated (iTunes ID を検証できません)」というエラーが表示されます。

解決策: ありません。これは iOS の制限です。以降の同期時には、アプリがデバイスに正常にインストールされることがあります。

7.5.9 デバイスまたはユーザに割り当てられているアプリのライセンスの取り消しまたは使用に失敗することがある

デバイスまたはユーザに割り当てられているアプリのライセンスの取り消しまたは使用に失敗し、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

- ◆ License already assigned (ライセンスはすでに割り当て済みです): このエラーメッセージは、ライセンスがデバイスまたはユーザに割り当てられていないにもかかわらず表示されることがあります。
- ◆ No license to disassociate (関連付けを解除するライセンスがありません): このエラーメッセージは、ライセンスがデバイスまたはユーザに割り当てられているにもかかわらず表示されることがあります。

解決策: ありません。これは iOS の制限です。

7.5.10 iOS デバイスの登録時に、デバイスの登録が長時間保留中のままになる

ZENworks 管理ゾーンへの iOS デバイスの登録が完了せず、オブジェクトが長時間、ZCC の保留中の登録デバイスフォルダに残ります。

解決策: ZCC の保留中の登録デバイスフォルダからデバイスオブジェクトを削除します。しばらく待ってから、もう一度 iOS デバイスの登録プロセスを開始します。

7.5.11 ユーザが属するユーザソースを削除して再度ゾーンに追加する場合、デバイスの再登録に失敗する

以前に削除したユーザソースを再度ゾーンに追加する場合に、このユーザソースの一部であるユーザに関連付けられているデバイスをゾーンに再登録すると、ZCC 内の既存のデバイスオブジェクトによってデバイスを調整できないため、再登録に失敗します。

解決策: ZCC 内のデバイスオブジェクトを手動で削除してから、デバイスを再登録します。

7.5.12 オフラインの MDM サーバに割り当てられているアクションが実行されない

ゾーン内に複数の MDM サーバがある状態で、オフラインの MDM サーバに自動的にアクションが割り当てられた場合、このアクションは、ネットワークに接続されている別の MDM サーバに委任され、割り当てられたアクションの実行が未完了のままになります。

解決策：ありません。ネットワークに接続されていないサーバに割り当てられている MDM 役割を削除してから、アクションを再度実行します。

7.5.13 別の APNs 証明書を再設定すると、デバイスの登録が保留中のままになる

既存の APNs 証明書は別の APNs 証明書で置き換えられて、ZENworks ゾーンに再設定されます。ユーザがデバイスを登録しようとする時、デバイスは登録保留中の状態のままになります。

解決策：ゾーン内のすべての MDM サーバを再起動してから、デバイスを登録します。

7.6 ZENworks アプリケーション (ZAPP)

このセクションでは、ZAPP の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 12 ページのセクション 7.6.1 「ZAPP が最大サイズに達した場合に ZAPP ログが圧縮されない」
- ◆ 12 ページのセクション 7.6.2 「起動時に ZAPP を起動できない」
- ◆ 13 ページのセクション 7.6.3 「ZAPP が ZENworks Agent と通信できない」
- ◆ 13 ページのセクション 7.6.4 「バンドルの [プロパティ] ページから電子メールクライアントが開かない」

7.6.1 ZAPP が最大サイズに達した場合に ZAPP ログが圧縮されない

ZAPP では、最大サイズに達すると <username>.zapp.log ロールオーバーファイルが作成されます。ただし、zip の作成に関する問題のため、これらのロールオーバーファイルに対しては .gz zip ファイルが作成されません。

最新ファイルは <username>.zapp.log という名前で、最も古いファイルの名前に最も大きい番号が追加されます。

解決策：ありません。logger.json ファイル (場所 : %zenworks_home%/zapp/conf) の "zippedArchive" プロパティの値を true に変更していないことを確認してください。

7.6.2 起動時に ZAPP を起動できない

起動時に ZAPP を起動してフォアグラウンドで実行することはできません。これは ZAPP がすでにシステムトレイで実行されているためです。

解決策：次回ログイン時から起動時に ZAPP をフォアグラウンドで起動するには、次の手順に従います。

- 1 %zenworks_home%/zapp に移動します。
- 2 package.json ファイルを開きます。
- 3 "show" プロパティを探し、値を false から true に変更します。
- 4 ファイルを保存します。

7.6.3 ZAPP が ZENworks Agent と通信できない

インターネットプロキシが設定されている場合、ZAPP は ZENworks Agent と通信できず、ログファイルにコード 503 のエラーメッセージが表示されます。

解決策：ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しないを有効にします。

- 1 Windows デバイスで、スタートをクリックし、コントロールパネルを選択します。
- 2 インターネットオプションを選択します。
- 3 [インターネットのプロパティ] ウィンドウで、接続タブを選択し、LAN の設定をクリックします。
- 4 [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウのプロキシサーバーで、ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しないオプションをオンにします。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 すべての ZAPP プロセスを終了して、ZAPP を再起動します。

7.6.4 バンドルの [プロパティ] ページから電子メールクライアントが開かない

バンドルの [プロパティ] ページで電子メールのリンクをクリックしても、電子メールクライアントが開きません。

解決策：電子メールクライアントが mailto プロトコルを使用するように設定されていることを確認します。

7.7 Full Disk Encryption

このセクションでは、Full Disk Encryption の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

7.7.1 Windows 10 Anniversary Update バージョン 1607 で PBA ユーザキャプチャリングが機能しない

次の条件下では、Windows 10 Anniversary Update バージョン 1607 でプリブート認証 (PBA) のユーザキャプチャリングが機能しません。

- 1 Full Disk Encryption をアクティブ化した状態で、Windows 10 デバイスの Anniversary Update 以前のバージョンに ZENworks Agent をインストールする。ディスク暗号化ポリシーは有効にしない。
- 2 デバイスを Windows 10 Anniversary Update バージョン 1607 に更新する。
- 3 PBA および PBA アカウントのユーザキャプチャリングが有効になっているデバイスにディスク暗号化ポリシーを割り当てる (PBA ユーザは指定されていない)。
- 4 PBA のプロンプト画面を「タイムアウト」させて、Windows ログイン画面まで起動する。

解決策：PBA のプロンプトが表示されたときに、OK を押します (PBA のプロンプト画面をタイムアウトさせないようにします)。

8 その他のマニュアル

この Readme は、ZENworks 2017 に固有の問題を一覧表示しています。他のすべての ZENWorks 2017 のマニュアルについては、[ZENworks 2017 マニュアルの Web サイト](#)を参照してください。

9 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

Copyright © 2016 Micro Focus Software Inc. All Rights Reserved.